

鼠径・大腿・閉鎖孔・腹壁ヘルニアの手術を受けられる患者様へ

氏名 (@[Patient.Name])

担当医師 (

担当看護師 (

暦日	(/)	(/)		(/)
病日	手術前日	手術当日(前)	手術当日(後)	手術後1日目(退院日)
達成目標	手術の準備を整えることができる 発熱などの風邪症状がない 不安なく手術を受けることができる	不安なく手術を受けることができる 発熱などの風邪症状がない	血圧などに異常がない 痛み止めを使いながら、傷の痛みをコントロールすることができる 創部からの出血がない	痛み止めを使いながら傷の痛みをコントロールすることができる 病棟内を歩行することができる 退院後の生活での注意点を理解することができる
治療	手術後の深部静脈血栓症予防の為、手術後に着用する弾性ストッキングのサイズを測定します	朝 時まで時まで飲水可能です。 決められた時間までにしっかり経口補水液(OS-1)を摂取して下さい。 患者さんの状態に合わせて朝に内服薬があります	手術後、心電図・酸素マスク・フットポンプをつけて病棟に帰ってきます (トイレまで歩行できたらフットポンプを外します)	医師の診察後に心電図を外します
処置	お臍をきれいにします	トイレを済ませ、術衣・弾性ストッキングに着替えます。	点滴があります 抗生剤の点滴があります	痛み止めの内服薬が始まります
薬剤	今まで飲んでた薬があれば医師、看護師にお知らせください (お薬手帳のご提示をお願いします)	手術搬入前に点滴があります (9時から手術の場合はありません。手術室で点滴をします)	痛みが強い時は痛み止めを使います	点滴があります 点滴は終了しましたら針を抜きます
検査		手術は、 時 分頃からです		
安静度	病院内自由です。病棟外へ出られるときは看護師に声をかけてください	手術時間まで安静にしてください	手術直後1時間はベッド上安静です	病棟内自由です(初めて歩くときは看護師が付き添います)
栄養	夕食まで食事がとれます 24時以降絶食です 経口補水液が(OS-1)出ますのでしっかり水分摂取して下さい 決められた時間まで飲水可能です	水や食事をとることはできません うがいや歯磨きはできます	帰室後1時間より水分摂取が可能です 15時までに帰室された場合は、夕方から食事開始となります 15時以降に帰室された場合は、翌日朝から食事開始となります	診察後に食事が始まります
清潔	お臍の処置後にシャワー浴します			シャワー浴ができます(看護師にご相談ください)
排泄			術直後はベッド上安静です 術後1時間より覚醒がよければトイレに行くことができます。 トイレに行きたい際は看護師に伝えて下さい (尿の管が入ることもあります)	お通じが硬いときや出にくいときには下剤を使用します (看護師にお知らせください)
教育	クリティカルパス(この用紙)を用いて手術の流れを説明します		ご家族に手術結果を説明します	退院後の生活で注意してもらいたいことを説明します
指導	麻酔科医が麻酔について説明します			退院時に次回外来日と薬について説明します
説明	手術室看護師が訪室します			